磯津の言葉（諺）（第 26 回）

第 26 回は、地震に関する諺と天候に関する用語等です。

＜天候に関する諺 No.5＞

①地震に関する諺

区分	諺（ことわざ）
動物	・ネズミが家からいなくなると地震がいる ・ヘビが（家から）いなくなると地震がいる ・ナマズが動かずにおとなしくしていると、地震が起こる
気象	・蒸し暑くなると地震がいる ・地震がいると天気が変わる
雲	・地震雲は西の空に出て、境目がはっきりとしている
その他	・井戸の水が（急に）無くなると地震がいる ・地震は返しが怖い ・伊勢（=伊勢平野地域）はお伊勢さんが守っとってくれるので、大きな災害が起こらない ・伊勢において物案じするな

②天候に関する伝承・諺（用語、その他）

区分	諺（ことわざ）・用語
動物	・三毛猫の雄は天気を知る
雷	・雷が鳴ったら金物を捨てよ（＝鍬等を持って歩くな） ・雷は高い木に落ちる、雷が鳴ったら高い木の根に寄るな　） ・雷が鳴ったらへそ隠せ、へそ出し取ると雷さんが取ってくぞ
春	・寒のもどり ・春の初めに吹く強い南風は「春一番」 ・（お）釈迦（さん）の荒れ（＝3 月 15 日の悪天候） ・花冷え（＝桜の咲く時期の冷え込み）
秋	・秋の日は釣瓶落とし
彼岸	・彼岸日和（:ひがんびより＝すっきりとしない天気）

農作物（稲）の作柄に関する伝承・諺

区分	諺（ことわざ）
—	—

磯津ことばを記録する会（連絡先）　桜井好基